

わがまちみらい情報交換会 実施報告書

- 1 日 時 平成 30 年 12 月 15 日（土）、16 日（日） 13 時 00 分～16 時 45 分
- 2 会 場 長崎県庁行政棟 1 階 大会議室
- 3 概 要 地域コミュニティのしくみづくりをモデル事業として実施している地区と地域と協働した取り組みを実施している市民活動団体からの事例発表を通して、参加者同士の意見交換を行う。
- 4 アドバイザー IHHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表 川北秀人氏
- 5 参加者 297 人（1 日目 168 人、2 日目 129 人）
- 6 発表団体

1 日目 12 月 15 日（土）

- モデル地区 （1）土井首地区コミュニティ協議会
（2）深堀地区コミュニティ協議会
（3）横尾小学校区コミュニティ連絡協議会
- 市民活動団体 （1）特定非営利活動法人長崎ウェルネススポーツ研究センター
（2）もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会

2 日目 12 月 16 日（日）

- モデル地区 （1）式見地区コミュニティ連絡協議会
（2）ダイヤモンドまちづくり連絡協議会
（3）茂木コミュニティ連絡協議会
- 市民活動団体 （1）トムテのおもちゃ箱
（2）認定 NPO 法人長崎 OMURA 室内合奏団

7 実施内容

○ 開会挨拶

市長からご参加いただいたみなさんへのご挨拶と長崎市で進めている地域コミュニティの仕組みづくりについて、本日のねらいなどについて話しました。



○ アドバイザー紹介

IIHOE

[人と組織と地球のための国際研究所]

代表 川北秀人さんの紹介



○ 参加者同士で自己紹介

今日一日を一緒に過ごす参加者のみなさん同士で自己紹介を行いました。



○ モデル地区の事例発表

地域コミュニティ連絡協議会の設立までのポイントや苦労話、現在取り組んでいる事業、取り組みをする中での課題やメリットなどをご発表いただきました。

※モデル地区とは
市の地域コミュニティのしくみづくりのモデル事業を実施している地区のこと

発表が終わるごとに参加者の皆さんで話しながら、質問や感じたことを付箋に書き出しました。



○ 市民活動団体の事例発表

市民活動団体からは、実演を通して活動内容をご紹介いただきながら、地域での取り組み実績や実際に地域と協働する際のメニューなどについてご発表いただきました。

※市民活動団体とは
市民が自主的に行う不特定かつ多数のもの
の利益の増進に寄与することを目的とする
活動を行う団体のこと。



○ 質疑

モデル地区の発表と市民活動団体の発表が終わるごとに、会場の皆さんから寄せられた質問（付箋に記入）を基に、川北さんの進行で質疑応答を行いました。

モデル地区の質疑では、協議会の立ち上げ時の仲間づくりについてや運営・事業に対する質問が出ていました

市民活動団体の質疑では、実際に地域で活動をする際の費用や会場等の要件についての質問が出ていました。



○ 市長からのコメント

市長から各団体の発表を聞いての感想をいただきました。



○ アドバイザーからアドバイスとこれからの地域づくりについてのお話

アドバイザーから各発表に対するアドバイスをいただいた後、将来の人口動態や他都市での事例を交えながらこれからの地域づくりについてお話いただきました。



○ まとめ

どの団体の発表からも、地域をよくしたいという熱い思いが伝わってきて、参加者の皆さんにもたくさんの学びがあったようでした。

また、会終了後も、会場のあちらこちらで個別に情報交換する姿が見られるなど、新しいつながりも生まれていました。

最後に参加者の皆様同士でお疲れ様の握手をして閉会しました。



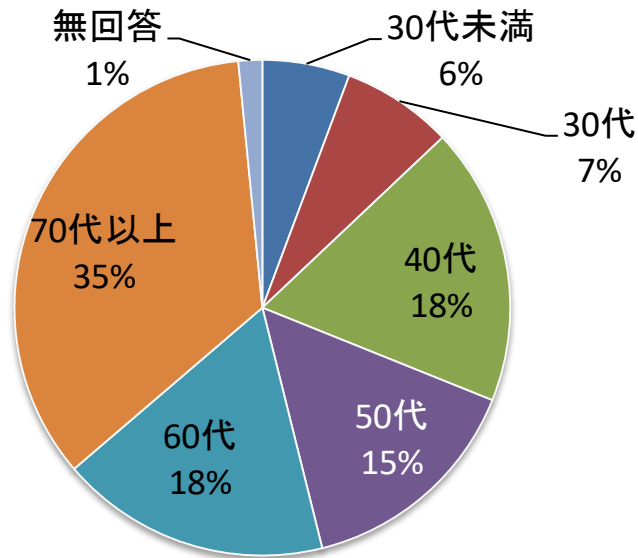
8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

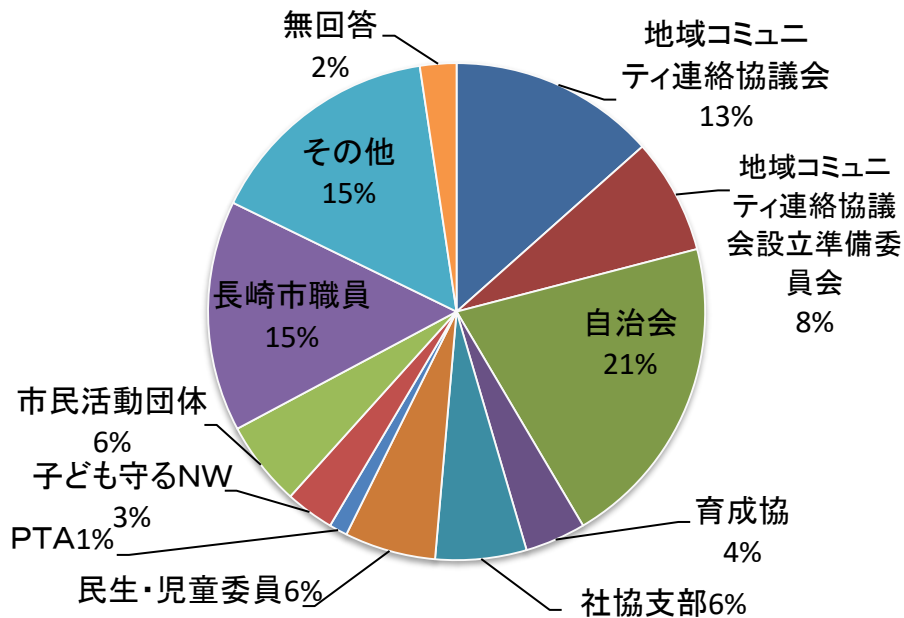
わがまちみらい情報交換会 アンケート集計結果

[回答者数193名]

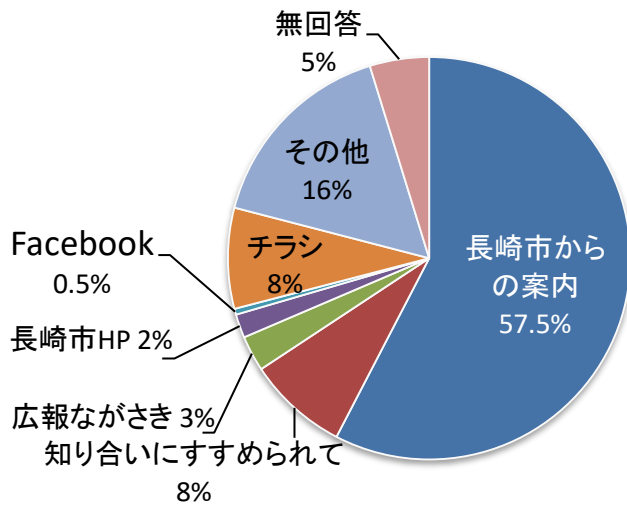
参加者 年代比率



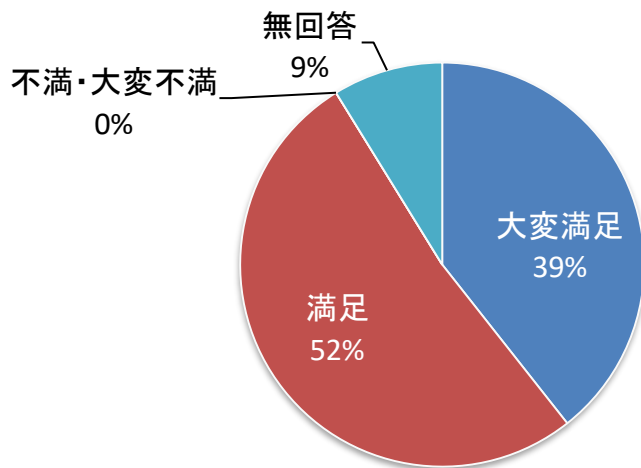
参加者 団体比率



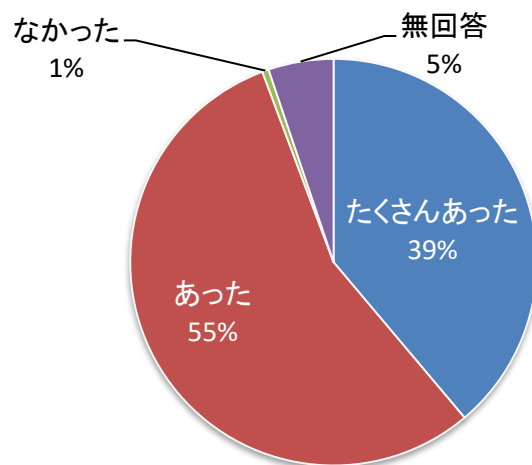
1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？（複数可）



2 本日の情報交換会の評価について、当てはまるものを選んでください。



3 あなたにとって、活動のヒントや参考になることはありましたか？



わがまちみらい情報交換会(1日目) アンケート(年代別・団体別クロス集計)

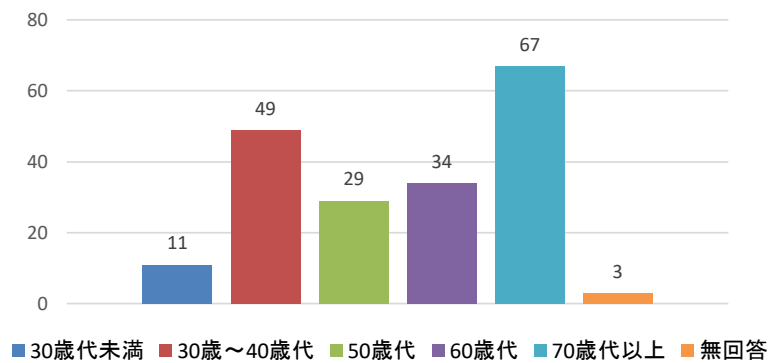
回答者数193名

A 年代別

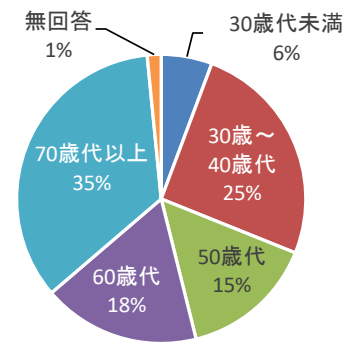
参加者数と割合

	若者世代	子育て世代	熟年世代	定年世代	高齢世代	無回答	合計
	30歳代未満	30歳～40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	
参加者数(人)	11	49	29	34	67	3	193
割合	6%	25%	15%	18%	35%	2%	100%

年代別参加者数



割合



所属団体(複数回答有)

	若者世代	子育て世代	熟年世代	定年世代	高齢世代	無回答	合計
	30歳代未満	30歳代～40歳代	50代	60代	70歳代以上	無回答	
協議会		3	4	11	16		34
準備委員会		3	1	2	13		19
自治会		3	1	8	39	1	52
育成協		4	4	2			10
社協支部		1			14		15
民生・児童委員				7	8		15
P T A		2	1				3
子ども守るNW		1	3	2	2		8
市民活動団体	1	5	1	4	3		14
長崎市職員	5	16	15	2			38
その他	5	17	6	5	5	1	39
無回答		3	1	1		1	6
合計	11	58	37	44	100	3	253

その他内容 ※記載があったもの	ふれあいセンター、地域包括支援センター、老人クラブ連合会、少年補導員、大学生、他都市職員、他都市町内会長会等
--------------------	--

1 来場のきっかけ（複数回答有）

	若者世代	子育て世代	熟年世代	定年世代	高齢世代	無回答	合計
	30歳代未満	30歳代~40歳代	50代	60代	70歳代以上		
長崎市の案内	4	34	19	22	40	2	121
知り合いのすすめ	4	4	1	4	4		17
広報ながさき			2	2	2		6
ホームページ		2	1	1			4
Facebook				1			1
チラシ	1	3	1	6	6		17
その他	2	6	5	7	13	1	34
無回答	1	1	1		7		10
合計	12	50	30	43	72	3	210

その他内容 ※記載があったもの	県案内、活動団体からの案内
--------------------	---------------

2 情報交換会の評価

	若者世代	子育て世代	熟年世代	定年世代	高齢世代	無回答	合計
	30歳代未満	30歳代~40歳代	50代	60代	70歳代以上		
大変満足	6	29	9	14	17	1	76
満足	3	19	18	15	43	2	100
不満					0		0
大変不満							0
無回答	2	1	2	5	7		17
合計	11	49	29	34	67	3	193

3 活動のヒントや参考になること

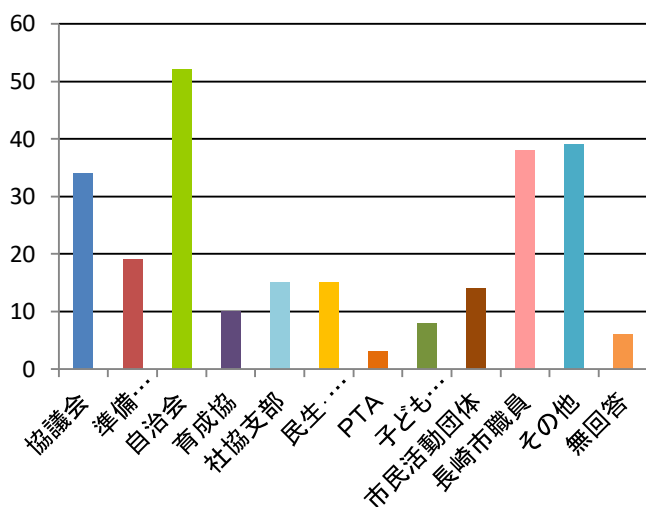
	若者世代	子育て世代	熟年世代	定年世代	高齢世代	無回答	合計
	30歳代未満	30歳代~40歳代	50代	60代	70歳代以上		
たくさんあった	6	27	10	14	17	1	75
あった	4	22	17	18	44	2	107
なかった					1		1
無回答	1		2	2	5		10
合計	11	49	29	34	67	3	193

B 団体別

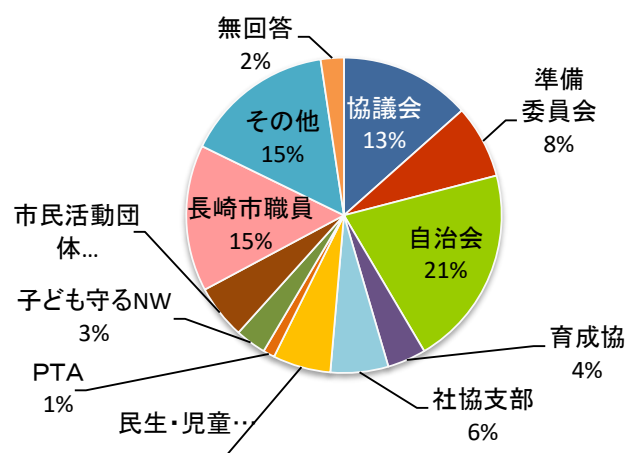
参加者数と割合

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生・児童委員	P T A	子どもを守るNW	市民活動団体	長崎市職員	その他	無回答	合計
参加者数(人)	34	19	52	10	15	15	3	8	14	38	39	6	253
割合	13%	8%	21%	4%	6%	6%	1%	3%	6%	15%	15%	2%	100%

参加者数（人）



割合



所属団体（複数回答有）

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生・児童委員	P T A	子どもを守るNW	市民活動団体	長崎市職員	その他	無回答	合計
30歳代未満									1	5	5		11
30歳代～40歳代	3	3	3	4	1		2	1	5	16	17	3	58
50歳代	4	1	1	4			1	3	1	15	6	1	37
60歳代	11	2	8	2		7		2	4	2	5	1	44
70歳代以上	16	13	39		14	8		2	3		5		100
無回答			1								1	1	3
合計	34	19	52	10	15	15	3	8	14	38	39	6	253

その他内容
※記載があったもの

ふれあいセンター、地域包括支援センター、老人クラブ連合会、少年補導員、大学生、他都市職員、他都市町内会長会等

1 来場のきっかけ（複数回答有）

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生・児童委員	P T A	子どもを守るNW	市民活動団体	長崎市職員	その他	無回答	合計
長崎市の案内	26	15	39	7	9	6	2	5	8	27	17	3	164
知り合いのすすめ	3		2	1	1	3		1	1	2	7		21
広報ながさき	3	1	1	1			1	1		1	1		10
ホームページ		1								1	2		4
Facebook	1												1
チラシ	3	6	2		3				2	1	4	2	23
その他	2	1	8	1	2	6		1	4	4	10	1	40
無回答	1	1	2		2				2	2	2		12
合計	39	25	54	10	17	15	3	8	17	38	43	6	275

その他内容 ※記載があったもの	県案内、活動団体からの案内
--------------------	---------------

2-(1) 情報交換会の評価「事例発表」

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生・児童委員	P T A	子どもを守るNW	市民活動団体	長崎市職員	その他	無回答	合計
大変満足	11	8	13	3	3	7	2	2	7	18	20	4	98
満足	21	9	33	7	9	8	1	6	5	18	15	2	134
不満													0
大変不満													0
無回答	2	2	6		3				2	2	4		21
合計	34	19	52	10	15	15	3	8	14	38	39	6	253

3 活動のヒントや参考になること

	協議会	準備委員会	自治会	育成協	社協支部	民生・児童委員	P T A	子どもを守るNW	市民活動団体	長崎市職員	その他	無回答	合計
たくさんあった	13	8	15	3	5	5	2	6	6	19	16	5	103
あった	19	11	32	6	8	8	1	2	7	17	22	1	134
なかった	1		1		1	1							4
無回答	1		4	1	1	1			1	2	1		12
合計	34	19	52	10	15	15	3	8	14	38	39	6	253

3 今後の活動のヒントや参考になったことは具体的にはどのようなことですか？

内容
組織体制やその取組み
つながり⇔楽しさ⇔こども
・色々な課題があって、地域解決方法も多種多様であることが分かった。
・情報交換を毎月開催/すばらしい取組と思った ・色々なイベント開催に感嘆 どんな企画を作り上げるか、今後の課題
モデル地区や川北先生のお話は大変わかりやすく参考になった 将来の準備が必要と思う
①まず自分自身が楽しくやらねばならない事を感じた ②3人とも良く頑張られている。自分も見習わなければならないと感じた
団体さんの抱える課題や事例をもとに、最後の川北さんのまとめで話された事例が参考になった。
組織作り
組織のつくり方
現場で活躍されている協議会の役員の方がどういう事を考えて、どういう苦勞をされているか聞くことができたから
未加入の方、協力者への呼びかけなどがよかった。
他地域を知ることが出来た 広報について、組織のつくり方等
長崎市の状況がわかった ボランティア団体として「高齢者のささえ」をますます活性化をするべきと確信できた
・地域の実情がよくわかった。アドバイスを受ける参考になった
まちづくりの具体例、実践の様子を知ることができました
・楽しく参加しやすい場所づくり ・全世代からの意見や要望をくみとること
地域を「元気になる、元気になるための心配り、気づかい、必要とされることなど」考え理解を深めていく必要があると思いました。
協力体制、地域力等支援する方々の尽力
町内で協力をされると動きやすいことが良かったと思う。若い方の動きに力出るのでと思う。
モデル地区はリーダーが楽しんでやっている。リーダーはもともとの地域のリーダーが中心になっている。結論としては、誰が中心になるか。(智恵のある人) 事象(世の中)を広く見ている人
各地域でどういった取り組みをされているか知るきっかけとなりました。年代別等で体力のデータなど提示できればもっと皆さんの活動意欲を高めることにつながると感じました。
・季刊誌の発行部数が参考になった ・身近な健康づくり
どこの地区でも有意義な活動をしていると感心しました。
・どこの地域もどの団体も頑張っておられて本当に勉強になりました。私達地域も参考にし頑張っていこうと思います。色々な行事に子どもの声を聞き、子ども達にも役割割りを持って行事に参加してもらいたい。
自分の地区で取り組んでいない事でまだ出来そうな事がある様な気が持てた。

内容
所属する地域をどう取り込むか、運営に向けてのヒントをもらえたような気がします。3地区の良い所、課題となる所を参考にし、可能な範囲で提案をしていきたいと思えます。
青色の付せん紙に書いて持ち帰ります。 ユニークな活動もあつたりして…
・モデル地区の成功はリーダー特に会長、副会長の優れたリーダーシップにあると感じた。 ・3地区の考え方、活動内容は全て参考になった
・リーダーシップをとる人材がいるところは、まちづくりが進みやすい ・否定的な意見を言う人が多く、話し合いが進まない
自分がこの先高齢化して行くにあたり、各地域の取り組みに感動しました
・高齢者と子どもと一緒に活動させる企画 ・リーダーの決め方 ・女性や子どもをどのように呼び込むか ・イベントの費用や場所 ・自治会の理想的なあり方、活動方法など
3地区の活動内容が準備中の地域としては、参考になる報告を頂けた 特に準備の中での呼びかけの話とか
楽しみながら活動を行うことの重要性 まずは行動してみるという事
コミュニティ協議会の結成
コミュニティの組織は、ネットワーク型が良いと思いました。
・コミュニティの予算の不明点も多く、他の地域の活動で取り入れたい部分も多くあつた ・イルミネーション、田植え、花いっぱいプロジェクトはとても良い取り組みだと思う
前向きな考え方(地域)が多かつたこと
川北講師の話が良かつた
1. リーダーや推進員の適切な人選 2. 協議会活動の必要性に強い信念を持つこと
多くの先進事例、抱えている課題、地域づくりの取り組み方を聞くことができました
長崎市が全体として取り組んでおられること、各地区の丁寧な取り組みなど 今後自分の地域で、活かせることがたくさんありました
施策の具体的例が多数あり良かつたと思えます。
体制づくり 人材の発掘方法など
コミュニティの周知、理解が少し進んだ コミュニティの考え、方向、必要性はわかる気がするのですが、その方法が問題かな
発表団体全てに言えることは「楽しんで活動」しているということ。まずは楽しまねばと改めて感じました。川北さんの話はいつも新鮮で危機感に包まれます(いい意味で)また、情報の量がものすごい(もちろんいい意味で)
協議会活動のヒントあり
備災、福祉カード 個人、家庭の課題
医者との座談会 部会制とネットワーク制の組織作り
子ども会議、夏休みサマースクールなど子ども達への参加が多かつた事です
・地域内の活動実績を明確に表にしてありましたが、これを広げたり一つにしたりと工夫があつた事 ・同じ地域の中での情報交換が大事だと今更ながら実感した
地域運営のあり方について、自分の地域と照らし合わせて、どういった方向にもっていくべきか考えることができた

内容
地域の温度差があったと思いました。でも、その差を埋めるにも学びたいと思いました。
モデル地区で運営する側の負担が思った程じゃないと多くの人が感じたのでは 川北さんのお話にも非常に興味深く聞けた
まちづくり、必要性、しくみづくり
しくみづくりのメリット、難しさを知ることができた。将来を見据えて活動のきっかけとしたリーダーたちに感服した(チャレンジ精神)
ネットワーク型 市民活動団体の活動 川北さんの話し
まず地域での当事者意識の向上が必要かな
地域内のイベントは、参加者が限定されているということで休止の状態であり、どうして復活出来るかが問題である
ネットワーク型と部会型の違いをもう少し勉強したい
これからは、暮らしが変わることに対して、地域コミュニティの活動を変えていく必要性を強く感じた
今後の自治会運営は行事より福祉と健康づくりに力を入れるということが学べた
知る、聞くことから発見がありました
自分の団体と協力できそうな事がありました
多様な考えが聴けて良かった
地域ごとにまとめる方法、アイデアがあり、時間をたくさん使って意欲的に継続的に進められている所がすごいと思った
発表された地区の取り組みは素晴らしいと思います。少子高齢化の中、地域のコミュニティは大事だと思います
同じ市域での先進地の事例なので聞きがいがあった。3団体ごとに1~2つは地元でできそうなことがあり、ありがたかった(良かったこと課題、苦労したこと問題の解決法など)
アドバイザーの資料で今後の課題解決のための方向性や重要項目をしぼることができました
各地区でコミュニティがよく出来ていると思いました。
・3地区共に強力なリーダーシップを取られている事に感心した ・コミュニティ作りにはやはり育友会が主体にならないと難しいと思った
・他地区のコミュニティの協議会の活動状況がわかり、参考になりました。更にわが地区のレベルアップを図りたい
年間の事業計画等の参考にしたい
・医師との意見交換会 ・お手玉で健康づくり
協議会のコアメンバーを選任するヒント
先に質問を取っておくと良い→座談会
子ども達や若い方、高齢者など多年齢層の方々ととり込んでイベントを行なうことを計画する。又、部会制でなくみんなが共有出来るように(困っていることなど)ネットワークにした事など
発表された各団体の活動は素晴らしいものでした

内容
地区内の役員選出等非常に役立った
自治会長2人ずつの登用 カフェコンパレ 甲府のたより
・活動の組織がしっかりしている→リーダーの熱意が強かった ・地元の力は強いと感じた ・ウェルネス、お手玉もよかった。身近に使える
人口減、急速に進む高齢化社会においてどのようなまちづくりが必要になってくるのか 土井首地区：子ども会議 深堀地区：協議会(ネットワーク制)
・地域を愛する(大事にしたい)魂がすごいと感じた。ひとりではできないので、横のつながりを密接にして、また組織を作ってむだのない活動をする必要がある
川北先生のお話すべて
組織体制が異なるので100%のヒントは難しいと考えます 具体的経路まで及ばない
社会の仕組みの変化が地域運営に影響を与えているということ
地域の方にアプローチする際のヒントを得た
・リーダーの信念、意志の継続 ・地域情報の共有化
地域住民の協力を得るために「やりたいこと」を募ること 生きがいを意識した地域づくりを実施する
自治会の役員の育成がどこも課題であったこと。そしてその方法、重要なことを見えたこと
川北さんのお話はとても興味深く聞かせていただきました。「こうふのたより」ユニークな発想でした。
ネットワーク型、部会型の立ち上げ状況
これからのコミュニティ作りについて詳細についてよくわかりました
・広報紙を配布し周知 ・活性化には催し物を上手に行うこと
コミュニティ運営の現状を聞くことができた
協議会メンバーについてPTAを留任させる点、女性のつながりを使う点、月1定例会を実施、大人が喜ぶ事、事業の開催場所を変えていく点、部会制ではなくネットワーク制にする点
モデル地区、NPO法人の実際の活動やそれに対する川北先生のコメントがとても参考になりました
地域の人口と年齢の関係で協議会の計画、活動を考える必要
(式見)包丁研ぎ、野菜つり・・・いいなと思った (茂木)イベントから事業への課題・今後の取組みが楽しみ
モデル地区の現状、計画、また、ふれあいのきっかけとなる団体の発表
茂木地区の回答でベテラン層が若者に「任せるからやってみる後は責任をとるから」と言われたという話が印象的でした
定期的な地域内情報交換会の開催 ふれあいウォーキングはおもしろい企画と思った
・若い人に信頼して任せる事も大事！ ・発信力が大事！
不参加者の参加を努力しているが方向性が厳しく今後も再検討必要

内容
若人、高齢者の参加、活動状況
・組織の作り方全員が活動しないと何もできない ・地域をいかにして活動させるか
今後事業を行うことで参考としたい事業があった
立ち上げのきっかけ、若手が中心でスタートするという考え方
・送迎事業
安全安心への取りくみ
稼ぐ事業
共通の問題点
・人材マップの作成は、活動の継続人材発掘、人のつながり特に必ず必要になると思います。
モデル地区の活動状況を知る事が出来よかった。細かな点は直接電話で聞いて見たい。会合で逢う機会があるので聞いて見たい
よくまとまって協議会を立ち上げられたと思います。役員を選定など参考になりました
・サロンに参加できない方に対する支援方法やコミュニティの運営等の今後の取り組みについて考えることが出来た
・包丁研ぎサービスがユニーク ・移動動物園
人材の育成
川北さんの話が参考になりました
人材マップの作成等
川北さんのデータによる説明が、今後の活動への説得力になった(外部の第三者による提言の方が地域内の話し合いのとき材料として出しやすい)
お金の落とし方(1クッション置くこと)
川北代表の講和が大変良かった。もう少しゆっくりと理解できる形でして欲しかった
10人10色というがその地区に合ったまちづくり、特に今より将来を見すえて考えている様子で勉強になりました
・それぞれの地域の実情に応じて工夫努力されていることが理解できた。参加費もない中でよく集客されがんばっておられるようだ
本日も同じことなのですが、川北さんのまとめで内容が身についた感じです川北様ありがとうございました。毎回の出会いが幸せです
地域だけでなく外部団体の活用によってパワーアップを図る
地域の実状や問題がみえて良かった
それぞれの地域がまちの人の笑顔を想像しながら困難をみんなで乗り越えてがんばってこられたことが実感した
目指す目標は一緒ですが、その目標に向けて取り組む過程はそれぞれの特殊が出ていることを実感できました
他市のまちづくり協議会の話を書くことはあまりなかったのが佐賀と比較しながらどのようなアイデア(包丁研ぎ、お弁当の日、さるく)があるか、知ることができた

内容
最初から形を完ぺきにしない できることをできるだけ市と話し合う
ソーシャルビジネス 高齢化対策としてのシェア地域コミュニティビジネスのヒントになりました
具体的な苦勞している点、良かったこと、地域独自の活動を知ることができた
他地区の事例活動の中にヒントがありました
市民活動団体の発表の際に同じテーブルに座った方の本音のお声を聞くことができました。また、川北アドバイザーのお話も大変勉強になりました
運営体制の必要性を考える必要があると思いました。そしてその体制の見直し！！
地域の実情がよく分かった。今後どのような取り組みが必要か少し分かった
計画をじっくり考えて、出来る物、出来ない物を分けてあるのは良かった 初年度に盛り沢山やると大変
・ダイヤモンドの発表で伝統芸能やまつり、施設などなくても人づくりを中心にまちづくりができる所が面白かった(人材マップなども興味深い)
情報交換会に出席したのは2回目ですが市民活動団体の発表があったのが新鮮でした。たくさんある団体をこうやって紹介していただいたり、知る機会が増えればまだ動いていない地区の活動のヒントになることがあると思います
・接続できる活動づくり ・ささえあいをうむ地域にお金をおとす小商い事学というのが発見でした。ありがとうございました。
長崎市の今は(将来)がどのようになるかを知ることができた
地域の実情、課題もわかったし、地域のことについて考えているかたにたくさん出会えてよかったです。
まちづくりのしきみをなるべく早急にそしてたくさんの人に関わってもらうことが大事だとわかった
他地区の活動内容を知る事が出来、参考になった
地域での交流がよくできてるなと思いました
やってみる チャレンジ
・知らないことを知ることはありがたいです ・またの機会も参加させてもらいます
各地区の資源の有効活用
行政の役割 10年計画
市民へのアプローチの方法等
情報を受け早く考えることの大切さ
どのような企画をされているのか参考になりました
交付金についての茂木の方の自力で頑張る姿勢がすごいです 地域の産業にも目を向けているところ
市民活動団体等の存在を知り、今後イベント等に活用できるかを頭にいれておきたい
・モデル地区の方+2:158ような経緯で活動をはじめられたのかが分かって良かった ・茂木地区に対する「若い人を巻き込むためにどうしたら良いか」の質問、事務局に若い人を入れることがポイントであることが分かった

4 わがまちみらい情報交換会の中で、「こんなことを聴きたい」などの要望など

内容
他市町との交流の場(情報交換)→ 他市町の協議会
自治会イベントの費用と地域コミュニティイベントの費用分担をどうするか。特に自治会開催の納涼祭りの最後の抽選会は大事な楽しみ。自治会加入者、未加入者との関係をどうするか？
・現在の団体の補助金、助成金の取扱い ・説得法(各団体の)
情報交換会なので、発表されていない地域の現状をもっと話したかった。
・交付金の活用の仕方 ・他のコミュニティ協議会が行っている所への見学先等を企画して欲しい(市内の先駆的なコミュニティへの見学)
各地域間の情報の交換会等出来たら
進んで出て行ける場が必要な時代になりましたが、外出が進む様なものが近くにあったらいいのではないのでしょうか
横尾地区は連合自治会を基盤にしてかなり強引な力でまとめていたのかな～と
・各部会の長はコミュ協の会長、副会長が選んだ(お願いした)⇒横尾 それがぜひ必要だと思った。
・組織の若い人の話が聞きたい(20～30代)
コミュニティ協議会の結成のキッカケ、自治体の働きかけがあったのか？
・子どもが地域に残る様な取り組み、活動等を聞きたい ・皆が参加したくなる様なイベント、情報提供をどうするかを知りたい
協議会の運営には適正な事務局が専任で必要と思いますが、人件費は市の方で準備して頂きたい
伝統の継承について話し合える場があったら良いと思います
ピンクのふせんは、なかなか書きづらい(発表内容がうまく運営ができている体なので)
高齢者時代になり、若者や学童への引継を考えないといけない
お金(運営資金)の確保
交付金の使い方
この事業は失敗だった等
川北さんの事例をもっと聞きたい
子どもたちの参加の方法 たくさん集う方法があれば聞きたいと思いました。
・連絡先交換会(電話番号、メルアドなど) ・子どもたちをグッとひきつけるレクリエーションや体験プログラムの事例を教えてください
困ったこと苦労したこと・具体的に 準備会が立上げられないところの実情
川北氏のしめが一番OKすばらしかった
・高齢者(一人暮らし)の具体的な見守り方法(システム化?)等 ・空き家の活用方法等

内容
活動の内容(ソーメン流しなど)もっと具体的に映像を流すなどで知りたかった
モデル地区に続いて、もうすぐ協議会を立ち上げる地区の苦労談や対策談
失敗談について聞けたらと思います
自治会地域コミュニティふれセンetc 行事の在り方費用の負担等
長崎市に限らず、各市町で協議会の設立が進めば県単位での発表会など出来れば素晴らしいと思います
協議会の各部会の役員と各自治会の役員との関係(役割分担メンバー人選兼務もあるか)
川北先生のお話は未来の今後の地域づくりにたいへん役に立つと思いました。ありがとうございました。
今回のような学習会(研修会)を続けて欲しい。大勢の方が参加し勉強して欲しい
役員の人選の基準
川北さんの話は2時間くらいかけて聴きたい
川北さんの講義を多くききたい
現役世代の人材確保をどうしたらよいかうまくいっている地区の体験や意見を聴いてみたい
動画(部分で可)あればもっと説得力があるのでは ・どのようにして寄付金等募っているのか知りたかった
ピッチカットの美しさが難しい研修内容の頭をやわらげられた気持です。ありがとうございます
問題や課題についての取り組みについての考案 世代別の意見や地域への展望をききたい
・NPO法人やボランティア団体の活動内容 ・長崎市と相似している他都市の地域活動の情報
川北さんの話はもっと時間あっても良いのでは
他市町村の事例紹介
テーブル内で付箋に何を書いたか共有する時間があつたら良いと思った
他都市の活動内容の紹介
・川北さんにお尋ねできる時間がたくさんあるといいなと思いました
私たちのような市民団体のアピールができる機会をもっと増やしてほしい
交付金で使用出来る項目を具体的に説明していただきたい。一覧表などにして
・6つの先進地に出向いてつっこんだ話を聞きたい
今から検討中のところに「ネットワーク型」「部会型」の違いをわかりやすく説明して欲しい
質問時間がもう少しあると良いと思いました。

5 その他、ご意見・ご要望、感想など

内容
今回は、参加させて頂いてありがとうございました
・川北先生の話が、大変有意義であった。
講師川北さんの話は参考になった！！良かったです！！今後は福祉と防災と一緒に考える！！
川北さんの話は、いつお聞きしてもヒントがたくさんあり、興味深いです
・コミュニティ作りを早くしたいと思うが、急ぎすぎるといいものできない。じっくり取り組みたい
始めて参加でした。みなさんが動いていらっしゃる町があり、案を頂いた事もあり、有りがたかったです。係の方お世話様でした
・今日は参加して良かった ・市長、市職員の努力、熱意を感じうれしかった。
先進団体の話が聞けて、ある程度、強引に話を進めなければ、前には進めない
たいへん有意義なお話でした
・発表者の話がすばらしかった ・参加して良かったです
協議会立ち上げの手順とポイントを具体的に教えてほしい
ありがとうございました
他の地区の特徴が分かり、参考になりました
市外参加者の広がりはとても良いことだと思いました。また、逆に市内の参加者を増やす必要もあると思いました。地コミの皆さん大変お疲れ様でした。参加者のメンバーが「まちなか」の人たちは少なかったように思います
いつも参加させていただきありがとうございます
参加者に若い方が増えるような工夫を 全てのプログラムを時間内に終わらせる
川北さんの話で、これからの長崎市の高齢化がわかり、今までの自治会の組織ではそぐわないようになる。現状をふまえ、本気で考えていかなくてはと思った
町づくり、一人一人が我が事として参加できるように地域のコミュニティが必要だと思います
・各地域の集会所の利用法のハードルを下げてほしい。理由は地域に気軽に集まれる場が少ないため。現状は管理者の都合で〇×△がある。ふれセンもそうですが、もっと開放してほしい ・ウェルネスの説明、発表より質疑応答にしてほしかった ・ドリンクにコーヒーがほしい・・・。
良い活動だと思いましたが、自分の地域では難しいと感じました
大村からの参加でしたが、現在大村にはない組織なので今後の参考にしたいと思います。貴重な機会を頂き有難うございました。
本日は、大変勉強になりました。ありがとうございました。
川北氏の話はよかったです もう少し、ゆっくりききたかったと思います
自分の地域で、私自身はいろんなボランティア活動をしています。しかし地域としてまとまりがありません。トップが独善的でお手上げ
自治会未加入者の参加させる方法
川北さんの話が勉強になった
行事屋さんにならないことを願っています
会場が寒かったです。

内容
モデル地区の後の団体のPRIは、先に説明(趣旨)が欲しかった
モデル地区と市民活動団体の流れがテーブル内で???でした。市民活動団体の発表の前に補足説明がほしかった
参加者同士の交流の時間を少々セットしていただきたい
川北先生の話しはとても面白かったし、為になりました
公的設備の内容のみ一般駐車場より高い駐車料(県)としてどうか考えるが出来れば一般と同額ぐらいまでレベルを合わせようですか
交付金の活用事例
駐車場を無料にして欲しい
今後ともよろしくお願いします
二日間本当に勉強になりました。是非次回は私達の市民と一緒に参加したいです。ありがとうございました。
10年と言わず全ての地区が早く組織化されることを望む 合奏良かったです。
学習する機会を与えていただき感謝致します
私の地域とは色々違う環境で難しい面があります
自分たちの”まち”を自分たちでつくろうという人がたくさんいることに感心した。他に広まればいい。
年度内(今年)取組を中心に発表したら良い
<ul style="list-style-type: none"> ・生演奏が良かった ・質疑応答がスムーズでよい ・高野司会もよかった ・川北先生のお話は相変わらず(活)を入れられます ・広々とした会場で良かった
長崎、大村室内合奏団の演奏が疲れをいやしてくれた
とても勉強になりました
楽しかったです。もう少し掘り下げたかったです
まちづくりに対して知識を得ることができ意識も上がった
川北さんの話をまず聞いて各町の取組みを聞いた方が理解が進むと感じた
とても勉強になりました
色々な違った意見が聞けて参考になりました
・他の職員や自分の地域の人にも川北さんの話を聞いてもらいたいと思うぐらい非常に面白かったです。機会があれば次回も参加したいと思います。
年齢層が高いと感じた。中高生をはじめ、若い世代に参加してもらえるような情報交換会になってほしい
自治体の成り立ちが違うように行事に対しても違って来るとは思いますが、その年代の協力者も変わって来ます。いかに思いを引き止めることが課題かと思えます
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の地コミの交付金(1人400円)が意外と少ない ・お金はいいので局地的に動いてつないでくれる「人」を入れてほしい。所属は地域センターでいいので地コミの事務局員として1~2人はほしい
長崎OMURA室内合奏団の演奏は大変良かった アンコールしたかったです
少子高齢化は心配です。心配するだけではなく、アクションを起こさなければ何も変わらないと思う
非常に参考になりました